

Action for Butterflies

チョウの舞う豊かな自然を将来へ



ケヤブハギに産卵するツシマウラボシシジミのメス

ツシマウラボシシジミ ～保全エリアを拡大し、自然状態 での生息に向けた取り組みを進め ています～

これまでたびたびご紹介をしているツシマウラボシシジミですが、保全活動が継続的に行われ、取り組みが広がってきています。

まず、ツシマウラボシシジミの行政的な保全の位置づけが明確になりました。2017年1月に、「種の保存法」の指定種である「国内希少野生動植物種」（本誌22号参照）に指定されたほか、2017年3月に公表された「環境省レッドリスト2017」では、本種の категорияが「絶滅危惧II類」から「絶滅危惧IA類」へとランクアップしています。また、種の保存法で指定された国内希少野生動植物種のうち、特に生息地整備等の事業を推進する必要があるものについては「保護増殖事業計画」を策定し、事業を実施できることとなっ

ていますが、チョウではゴイシツバメシジミ、オガサワラシジミに次いで、ツシマウラボシシジミについても、10月に保護増殖事業計画が策定されました。

野外の生息地では、シカの侵入を防ぐための柵を引き続き設置しています。本種の減少の主要因が、シカの個体数増加による林床植物の消失であることから、当協会では、2016年1～2月に2ヵ所での柵の設置を行い、さらに2016年12月には、新たな2ヵ所でシカの侵入防止柵の設置を行いました。沢沿いに設置しますので、それぞれ50×4mあるいは70×5mという带状で、設置にあたっては、長崎県の「緑といきもの賑わい事業」という、希少野生動植物の保護増殖等の事業に補助する制度を利用して、昨年引き続き、シカの柵の材料費及び設置費約50万円の半額の補助を受けました。また、設置場所に関しては土地所有者の方に多大なご協力をいただきました。シカ侵入防止柵の設置は当協会の他に、対馬市および環境省によってもさらに進んでおり、今年度で、3地域の合計25ヵ所になる予定です。

設置した柵の内部では、食草や吸蜜植物の補植、間伐などが実施されていますが、食草等を増やすには時間がかかります。安定して生息できるには現状では不十分で、柵の内部で食草を増やすことが大きな課題となっています。本種の食草はマメ科のヌスビトハギ類とされていますが、詳細な調査を重ねた結果、食草の選択が季節ごとに異なり、5～7月頃はヌスビトハギに、8～10月頃は主としてケヤブハギに産卵が行われることがわかってきました。そのため、食草を増やす際にも、複数の種を組み合わせることが必要になります。吸蜜植物でも同様に、5月から秋にかけて、ナワシロイチゴ⇒ナガバハエドクソウ⇒ハエドクソウ⇒ヒメジソやアキノタムラソウと、季節ごとに主として利用される植物が変わります。つまり、ツシマウラボシシジミの生息には、これらの多様な植物が包含されている、植生が豊かで自然度の高い環境が必要なのですが、いちど崩れてしまった植生は、容易には戻りません。シカによって地域全体の植物相が非常に単調になってしまっている中では、本来の自然環境を復元することがいかに困難かを痛感しています。

生息域外保全の取り組みは、2014～2016年度に環境省が実施した生息域外保全推進モデル事業と協力しながら、足立区生物園および長崎バイオパークによって継続して行われており、飼育下繁殖の技術も年々向上しています。

このように、多くの主体による取り組みが進んできていることから、今年度から環境省によって、本種の保全検討の

実施した環境保全作業



シカを防ぐために柵を張る。金属製のワイヤーメッシュを使用した



設置が完了したシカの侵入防止柵



高さ1mのワイヤーメッシュの上に、2mの高さまでロープを張った



林床のスギ等の落葉を除去し、食草や吸蜜植物の播種を行った



播種した場所から翌春に発芽した実生(ケヤブハギ)



実生では生長に時間がかかるため、食草の移植も行った(ケヤブハギ)

ための連絡会議も開催されており、各主体間での情報共有を進めながら、保護増殖事業計画に沿った効果的な保全対策が行われつつあります。近い将来、自然状態で安定した生息状況になることを期待しながら、取り組みを継続しています。

最後に、本事業を進めるにあたっては、会員の皆様よりご寄付をいただいた寄付金を活用させていただいていま

す。行政の補助制度には、「半額助成」などの条件がつくものも多いため、活動の自己資金が非常に重要になっています。また、飼育下繁殖でも、多くの会員の皆様に、ボランティアでのご協力をいただいております。多くの皆様からのご支援に、改めて厚く御礼を申し上げますとともに、引き続きご支援・ご協力のほどを、よろしくお願いいたします。

(中村康弘)